

入賞

伝承の町福島へ

福島県立ふたば未来学園中学校2年 ^{キダ}木田 ^{コウセイ}剛生

「フクシマ」、「ヒロシマ」、「ナガサキ」。日本の中に、カタカナで呼ばれている三県が存在していることをご存じだろうか。まずは、福島県が日本の四十七分の三に該当していることを知ってほしい。

二千十一年。福島の影響はこの年に強く刻まれた。震災が起きてからというもの、福島は良い意味でも、悪い意味でも特別視されているのではないだろうか。

ここで一旦冒頭の問題に触れる。そもそも片仮名で呼ばれている県の共通点としては、世界的な問題に発展してしまったことだ。広島、長崎は原子爆弾投下。福島は、原子力発電所爆発。と周りに大きく影響を与えている。ここで一つ気を付けてほしいのが、福島は他の二県と違い、自然災害から起きている事故という点だ。改めて日本という国の自然の怖さを思い知らされる。少し話が脱線してしまったが、震災によって、福島は世界的な問題を抱える県となってしまったのだ。だからこそ、私は後世へと歴史を繋いでいく必要があると考える。

今年開催された「東京二〇二〇オリンピック」では、「復興五輪」ということで、福島県が多く関わる形となった。きっと福島が抱える問題について再確認した人が多いのではないだろうか。私はここで終わらせるのではなく、福島としても、アピールしていく必要があると思う。県内には、伝承館はあるが、問題は立ち寄ってくれるかだ。勿論、福島県民の方は来るかもしれない。しかし、果たして他県の方は来てくれるのだろうか。来るにしても、何かしらのきっかけがないと私は難しいと思う。

そこで私は、「オンラインでの参加」を考えた。というのも、直接伝承館に行かなくても、オンラインでの映像を共有し、実際に行き得られるような情報を自宅から得ることができる。このような活動を作れば良いと思う。仮に福島原発事故について知りたい人が居るとする。しかし、そのためだけに福島を訪れる人はどのくらいいる

だろうか。きっとそう多くはないだろう。だからこそ、オンラインにすることで、簡単にかつ気軽に参加できると思う。

福島は原発事故から現在にかけて、数々の風評被害を受けている。その中に、知識不足によって書かれた意見はどのくらいあるだろうか。たくさんの方が原発事故についての理解を深めたら、きっと風評被害の軽減にも繋がると私は思う。あくまでこれは国内の話だが、最終的には世界へ発信することが重要である。まずは、目標への一歩として、福島県民の私が故郷の問題を理解すること。そして、それが県民、国内、そして世界へと広がっていくことを目標に、これから頑張っていきたい。